



2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年8月7日

上場会社名 加賀電子株式会社 上場取引所 東
 コード番号 8154 URL https://www.taxan.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 門 良一
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 川村 英治 TEL 03-5657-0111
 四半期報告書提出予定日 2019年8月14日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	109,564	97.4	1,850	24.2	2,045	21.8	1,350	17.6
2019年3月期第1四半期	55,493	△1.2	1,489	△28.7	1,679	△23.8	1,148	△34.4

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 442百万円 (△63.3%) 2019年3月期第1四半期 1,207百万円 (△44.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	49.20	—
2019年3月期第1四半期	41.87	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	209,272	83,472	36.2
2019年3月期	213,761	84,259	35.8

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 75,837百万円 2019年3月期 76,604百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	35.00	—	45.00	80.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期（予想）	—	30.00	—	30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2019年3月期 中間配当金の内訳 普通配当30円00銭 創立50周年記念配当 5円00銭

2019年3月期 期末配当金の内訳 普通配当40円00銭 特別配当 5円00銭

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	430,000	46.9	7,000	△7.5	7,000	△10.9	5,000	△37.6	182.17

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期1Q	28,702,118株	2019年3月期	28,702,118株
② 期末自己株式数	2020年3月期1Q	1,254,939株	2019年3月期	1,254,924株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期1Q	27,447,190株	2019年3月期1Q	27,433,124株

※ 四半期決算短信は公認会計士または監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料は、決算発表後速やかに当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、昨年11月に策定した「中期経営計画 2021」で掲げる2022年3月期売上高5,000億円、営業利益130億円、ROE 8.0%以上の経営目標達成に向けて、電子部品の販売ビジネスおよびEMS^(注)ビジネスを両輪に、成長戦略を推進しております。

当第1四半期連結累計期間における売上高は、本年1月より当社のグループ会社となった富士通エレクトロニクス株式会社(以下、「富士通エレクトロニクス」)の収益が期初から寄与したことなどにより前年同四半期比大幅に増加し、1,095億64百万円(前年同四半期比97.4%増)となりました。

利益面では、買収効果に加えEMSビジネスが堅調に推移したことなどにより、営業利益は18億50百万円(前年同四半期比24.2%増)、経常利益は20億45百万円(前年同四半期比21.8%増)となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は13億50百万円(前年同四半期比17.6%増)となりました。

(注) Electronics Manufacturing Serviceの略語。製品の開発・生産を受託するサービス。

	前第1四半期 連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期 連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	増減	
	百万円	百万円	百万円	
売上高	55,493	109,564	54,070	97.4%
売上総利益 (利益率)	7,641 13.8%	11,062 10.1%	3,420 △3.7pt	44.8% —
販売費及び一般管理費	6,152	9,212	3,059	49.7%
営業利益	1,489	1,850	361	24.2%
経常利益	1,679	2,045	366	21.8%
税金等調整前四半期純利益	1,762	1,799	36	2.1%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,148	1,350	201	17.6%
為替レート(期中平均) USドル	109円07銭	109円90銭	0円83銭	—

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

①電子部品事業(半導体、一般電子部品、EMSなどの開発・製造・販売など)

当事業では、EMSビジネスは空調機器、医療向けが順調に推移しました。また、部品販売ビジネスは本年1月からの富士通エレクトロニクスのグループ会社化により、車載向けを中心とした収益が加わりました。

これらの結果、売上高は945億87百万円(前年同四半期比133.5%増)、セグメント利益は16億21百万円(前年同四半期比51.3%増)となりました。

②情報機器事業(パソコン、PC周辺機器、各種家電、写真・映像関連商品およびオリジナルブランド商品などの販売など)

当事業では、個人向けや教育機関向けにパソコンおよびPC周辺機器販売が好調に推移しましたが、商業施設向けLED設置ビジネス、住宅向け家電販売ビジネスが、販売先の納期調整の影響などにより減少しました。

これらの結果、売上高は101億26百万円(前年同四半期比2.8%減)となり、セグメント利益は1億88百万円(前年同四半期比40.5%減)となりました。

③ソフトウェア事業(CG映像制作、アミューズメント関連商品の企画・開発など)

当事業では、CGアニメーション制作やゲームソフトの開発などの受注が顧客の開発日程延伸などにより厳しい状況が続きました。これらの結果、売上高は4億37百万円(前年同四半期比6.0%減)、セグメント損失は61百万円(前年同四半期は19百万円の損失)となりました。

④その他事業(エレクトロニクス機器の修理・サポート、アミューズメント機器の製造・販売、スポーツ用品の販売など)

当事業では、アミューズメント業界向けゲーム機器の販売が好調に推移しました。また、パソコンおよびPC周辺機器のリサイクルビジネスも堅調に推移しましたが、ゴルフ用品販売は伸び悩みました。

これらの結果、売上高は44億12百万円(前年同四半期比7.5%増)となり、セグメント利益は72百万円(前年同四半期比10.6%減)となりました。

		前第1四半期 連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期 連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	増減	
		百万円	百万円	百万円	
電子部品事業	売上高	40,507	94,587	54,080	133.5%
	セグメント利益	1,071	1,621	549	51.3%
情報機器事業	売上高	10,417	10,126	△291	△2.8%
	セグメント利益	317	188	△128	△40.5%
ソフトウェア事業	売上高	465	437	△27	△6.0%
	セグメント利益	△19	△61	△42	—
その他事業	売上高	4,103	4,412	309	7.5%
	セグメント利益	80	72	△8	△10.6%
合計	売上高	55,493	109,564	54,070	97.4%
	セグメント利益	1,489	1,850	361	24.2%

(注) 「セグメント利益」については、各セグメントでは調整前の数値を記載し、合計は調整後の数値で記載しております。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は2,092億72百万円となり、前連結会計年度末に比べ44億88百万円の減少となりました。

流動資産は1,766億49百万円となり、前連結会計年度末に比べ57億47百万円の減少となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が81億53百万円減少し、商品及び製品が34億44百万円増加したことによるものであります。

固定資産は326億23百万円となり、前連結会計年度末に比べ12億58百万円の増加となりました。これは主に、IFRS第16号の適用などにより、建物および構築物(純額)が10億67百万円増加したことによるものであります。

負債は1,258億円となり、前連結会計年度末に比べ37億1百万円の減少となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が61億99百万円減少し、短期借入金が30億34百万円増加したことによるものであります。

純資産は834億72百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億87百万円の減少となりました。これは主に、その他有価証券評価差額金が3億32百万円、為替換算調整勘定が5億50百万円それぞれ減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期以降の当社グループを取り巻く経営環境は、米国発の貿易諸問題の影響ならびに中国国内の景気動向、英国の欧州連合離脱問題、イラン等中東地域の地政学リスク等、予断を許さない状況が続くものと思われま

す。当社は、「中期経営計画2021」の初年度として、部品販売ビジネスおよびEMSビジネスを中心に、引き続き目標達成に向け全社一丸となって取り組んでまいります。

通期の業績見通しは、当第1四半期連結累計期間における順調な進捗を踏まえ、前回発表予想を据置くこととしました。なお、業績見通しの前提となる為替レートについても変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	35,003	32,668
受取手形及び売掛金	96,145	87,991
電子記録債権	5,361	5,243
有価証券	261	229
商品及び製品	33,734	37,178
仕掛品	489	837
原材料及び貯蔵品	5,802	5,908
その他	5,894	6,894
貸倒引当金	△296	△304
流動資産合計	182,396	176,649
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,910	5,978
機械装置及び運搬具(純額)	3,506	3,656
工具、器具及び備品(純額)	1,104	1,036
土地	4,861	4,861
建設仮勘定	628	1,066
有形固定資産合計	15,011	16,599
無形固定資産		
のれん	259	238
ソフトウェア	1,819	1,775
その他	126	153
無形固定資産合計	2,206	2,167
投資その他の資産		
投資有価証券	10,085	9,802
繰延税金資産	1,292	1,233
差入保証金	870	845
保険積立金	951	953
その他	1,462	1,535
貸倒引当金	△515	△513
投資その他の資産合計	14,147	13,856
固定資産合計	31,364	32,623
資産合計	213,761	209,272

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	77,884	71,685
短期借入金	30,656	33,690
未払費用	5,307	4,051
未払法人税等	1,147	568
役員賞与引当金	105	26
その他	6,239	7,145
流動負債合計	121,340	117,167
固定負債		
長期借入金	1,882	1,692
繰延税金負債	1,300	1,348
役員退職慰労引当金	94	97
退職給付に係る負債	1,997	1,937
資産除去債務	280	284
その他	2,606	3,272
固定負債合計	8,161	8,632
負債合計	129,501	125,800
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,133	12,133
資本剰余金	13,865	13,865
利益剰余金	51,297	51,412
自己株式	△2,024	△2,024
株主資本合計	75,272	75,387
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,018	685
繰延ヘッジ損益	2	△11
為替換算調整勘定	527	△23
退職給付に係る調整累計額	△215	△200
その他の包括利益累計額合計	1,332	450
非支配株主持分	7,654	7,634
純資産合計	84,259	83,472
負債純資産合計	213,761	209,272

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	55,493	109,564
売上原価	47,851	98,501
売上総利益	7,641	11,062
販売費及び一般管理費	6,152	9,212
営業利益	1,489	1,850
営業外収益		
受取利息	21	80
受取配当金	87	83
為替差益	—	43
持分法による投資利益	12	—
受取手数料	53	85
その他	101	119
営業外収益合計	275	412
営業外費用		
支払利息	37	75
持分法による投資損失	—	88
為替差損	35	—
その他	12	53
営業外費用合計	85	217
経常利益	1,679	2,045
特別利益		
固定資産売却益	1	5
投資有価証券売却益	184	0
事業譲渡益	7	12
特別利益合計	193	18
特別損失		
固定資産除却損	0	0
投資有価証券売却損	—	13
投資有価証券評価損	104	247
ゴルフ会員権評価損	5	—
その他	0	4
特別損失合計	110	265
税金等調整前四半期純利益	1,762	1,799
法人税、住民税及び事業税	264	211
法人税等調整額	345	157
法人税等合計	609	368
四半期純利益	1,152	1,430
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,148	1,350
非支配株主に帰属する四半期純利益	3	80
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△137	△330
繰延ヘッジ損益	16	△13
為替換算調整勘定	182	△644
退職給付に係る調整額	6	12
持分法適用会社に対する持分相当額	△13	△11
その他の包括利益合計	55	△987
四半期包括利益	1,207	442
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,203	463
非支配株主に係る四半期包括利益	4	△20

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(IFRS第16号「リース」)

国際財務報告基準を適用している子会社は、当第1四半期連結会計期間の期首より、国際財務報告基準第16号「リース」(以下、「IFRS第16号」)を適用しております。これにより、借手のリース取引については、原則すべてのリースについて使用権資産およびリース債務を認識するとともに、使用権資産の減価償却とリース債務に係る支払利息を計上しております。

IFRS第16号の適用については、経過的な取扱いに従って、リース債務は、適用開始日現在の借手の追加借入利率を用いて割り引いた現在価値で測定しており、使用権資産はリース債務と同額を計上する方法を採用しております。

本基準の適用に伴い、当第1四半期連結会計期間末において、有形固定資産の「建物及び構築物(純額)」が1,150百万円、「機械装置及び運搬具(純額)」が4百万円、「工具、器具及び備品(純額)」が1百万円、流動負債の「その他」が251百万円、固定負債の「その他」が911百万円それぞれ増加しております。また、本基準の適用に伴い当第1四半期連結累計期間の経常利益は84百万円減少しております。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益及び包 括利益計算 書計上額 (注)2
	電子部品 事業	情報機器 事業	ソフトウェア 事業	その他 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	40,507	10,417	465	4,103	55,493	—	55,493
セグメント間の内部 売上高又は振替高	669	185	177	959	1,992	△1,992	—
計	41,176	10,603	643	5,062	57,485	△1,992	55,493
セグメント利益又は 損失(△)	1,071	317	△19	80	1,450	38	1,489

(注) 1. セグメント利益の調整額38百万円には、セグメント間取引消去38百万円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益及び包 括利益計算 書計上額 (注)2
	電子部品 事業	情報機器 事業	ソフトウェア 事業	その他 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	94,587	10,126	437	4,412	109,564	—	109,564
セグメント間の内部 売上高又は振替高	754	160	91	965	1,973	△1,973	—
計	95,342	10,286	529	5,378	111,537	△1,973	109,564
セグメント利益又は 損失(△)	1,621	188	△61	72	1,820	30	1,850

(注) 1. セグメント利益の調整額30百万円には、セグメント間取引消去30百万円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。